

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 西松建設株式会社 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・多様な人材が継続的に活躍できる環境整備のために、階層別研修などで継続的にハラスメント防止研修を実施している。また、ハラスメントに関する相談窓口として、内部通報窓口および、外部相談窓口を整備してハラスメント対策に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)」に準拠して安全衛生管理を実施している。災害が発生してから再発防止を図る従来の「後追い式」の手法から、事前に災害の発生原因を取り除くリスクアセスメントによる「先取り式」の安全管理を行い、PDCAサイクルによる安全衛生管理水準の継続的な向上を目指している ・女性の働きやすい環境の整備を推進しており、熊本県下の現場・事業所にも女性社員が多数在籍している。 ・職員のストレスチェックを実施し、心理的安全性を確保している。										8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(総合職・エリア総合職・一般職)の公正な待遇を行っている。 ・年に一度、個人の目標を設定し、上長が適正な人事評価を行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革の推進を行い「在宅勤務制度」「フレックスタイム制」「服装の自由化」を全職員に導入している。 ・全職員の勤務時間の見える化を行い過度な長時間労働を防止している。										8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・人材の育成においては基礎的知識・技術の習得や、年代に応じた資格取得支援のほかに、生産性向上のための意識改革・スキルアップに主眼を置いた研修も実施している。 ・各種資格取得に対する必要経費の支給や資格取得にむけた外部研修の受講支援や奨励金を支給している。					4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、人間ドッグの経費補助を行っている。 ・健康経営優良法人ホワイト500(経済産業省)の認定を5年連続で受けている。										8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・当社では「フレックスタイム制」や「時間単位の年次有給休暇」の導入、仕事と育児を両立するための「両立支援制度」の拡充、総労働時間の削減に努めるなど、柔軟な働き方ができる職場づくりの取り組みを進めるとともに、制度利用の促進を図ってきた。その成果として、女性総合職の勤続年数は着実に向上しており、多様な働き方を許容するダイバーシティ推進の取り組みは実を結んでいる。										8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・全職員にフレックスタイム制、ウェブ会議システム、在宅勤務制度を導入している。また、今般の新型コロナウイルス感染症への対応においても、迅速にBCP対策本部を立ち上げ、全社にて情報共有を図り、感染拡大防止に向けた取り組みを行っている。											8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・当社施工の現場では大規模土工事の効率化、省力化の取り組みとしてICT技術、プレキャスト化BOXを採用している。レーザーキャナによる起工測量から三次元データの作成、UAVによる出来形測量およびICT建設機械を導入し、現場での測量・データ整理業務を大幅に削減させている。近年の熟練工不足・働き方改革などの問題解決に大きく貢献できている。(熊本県内の現場での実績有り)											8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●													8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 西松建設株式会社 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境・エネルギー	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・2016年より福岡県大野城市にて、子ども食堂・フードパントリーを実施しており、熊本に在籍する職員もスタッフとして活動している。 (2022年に福岡県より表彰された。)	1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事業活動の中で生物多様性保全を重視しており、独自のガイドブック「みんなで守る生物多様性 できることBOOK」を作成している。これを社内だけでなく協力会社にも配付し、意識を共有。全現場で生物多様性保全に関する活動を実施している。 ・現場や現場事務所等にグリーンカーテンや花壇を設置している。 ・立野ダム工事の現場事務所付近には街路樹などを整備している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・前述の『ZERO30』の一環として、当社は、事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアチブ『RE100』に参加している。 ・そのほか、バイオマス、小水力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーを供給する取組みを検討している。 ・当社施工の立野ダム工事では建設機械の一部にBDF(バイオディーゼル燃料)(BDF100)を使用しており、BDF原料を確保するために、家庭で使用された不要な天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料の原料として用い製造販売できるように製造販売業者と協定を締結し、循環型社会の形成の一端を担うことを目標とし活動している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金に賛同し、阿蘇大観の森で植樹を行い、阿蘇水掛の棚田では田植えを行い、森林活動整備・地下水の量と質の保全に貢献している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金に賛同し、阿蘇大観の森で植樹を行い、阿蘇水掛の棚田では田植えを行い、森林活動整備・地下水の量と質の保全に貢献している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・海洋プラスチック汚染の防止に関する取組みとして、2019年度に環境省が立ち上げたキャンペーン「プラスチックスマート」に登録。施工現場で排出される廃プラスチックのリサイクルと適正処理が促進されるよう、 ①独自の分別ルールを定め、徹底した分別(軟質・硬質・塩ビ管の分け) ②信頼性と高リサイクル率を最優先とした産廃業者選定 ③プラ系梱包材削減のための簡易梱包を推進 することで、自然界に廃棄・放出されるプラスチックの極小化に努めている。 ・2022年5~6月は環境省が推進する「春の海ごみゼロウィーク強化期間」にあわせて、全国の本支社・営業所・現場事務所周辺の清掃活動を実施した。												12.2 12.5		14				
社会・環境	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・移動は極力、公共交通機関を利用し、一部の社用車はHV車を使用している。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・CO2排出量に関しては、No.23で集計したエネルギー使用量をもとにCO2排出係数を乗じて算出している。 【2021年度の県内主力工事のCO2排出量】 立野ダム: 2,351t-CO2 宇城建築: 47t-CO2 県内の2021年のCO2排出量は、3,074.45t-CO2(一部推測を含む)である。これを2024年度には2,766.51t-CO2にすべくCO2削減活動を行っている。 ・当社は、脱炭素社会の実現に向け、『2030年度までに全ての事業活動におけるCO2排出量をネットゼロにする(=ZERO30)』という野心的な長期ビジョンを掲げ、その具体的な道筋である「ZERO30ロードマップ2021」を策定し、熊本営業所もこの取組みを2021年度より積極的に実践している。 【ZERO30にある燃料系の施策実績(2021年度)】 ①K-S1(軽油燃焼促進剤)の導入309.6ℓ(81.2t-CO2削減) ②BDF(バイオディーゼル燃料)の導入7,819ℓ(20.5t-CO2削減) そのほか、省エネ型建設機械の導入、固定オフィス・現場仮設事務所・工事用仮設照明のLED化、省燃費運転の励行に取組んだ。今後は再生電力を導入し、2024年度の目標達成を目指す。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。		●	・本社・支社による各種検討会、月に1度、品質パトロール・安全パトロールを行い、安全性や品質を確保している。			3.9								9		12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。		●	・当社施工の現場においても誰もが利用しやすい環境整備を推進している。一部ではあるが、熊本県内の企業様のオフィスはニューオフィス奨励賞を受賞。 ・2016年より福岡県大野城市にて、子ども食堂・フードパントリーを実施しており、熊本に在籍する職員もスタッフとして活動している。 (2022年に福岡県より表彰された。)										9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・積極的に県産の原材料の優先的利用を促進し、地産地消を推進している。(熊本県内の現場で多数実績有り) ・環境保全、および周辺地域への景観対応として、現場備品などを熊本県内の間伐材にて製作するなど積極的に活用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・環境保全、および周辺地域への景観対応として、現場備品などを熊本県内の間伐材にて製作するなど積極的に活用している。							7					12.2	13.1		15			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 西松建設株式会社 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会課題解決	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・当社施工の立野ダム工事では建設機械の一部にバイオディーゼル燃料(BDF100)を使用しており、BDF原料を確保するために、家庭で使用された不要な天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料の原料として使い製造販売できるように製造販売業者と協定を締結し、循環型社会の形成の一端を担うことを目標とし活動している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・積極的に地域清掃や地域行事に参加している。 ・立野地区の婦人会である「たんぼほの会」と協力を、地域住民の方々と交流会を開催している。特に東南アジアなど海外から技能実習生として来日している外国人を対象に、日本の伝統的遊びやクイズを通して、地域交流を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・立野ダム現場事務所周辺で太陽光発電式LED照明太陽光街灯を設置している。この動力電となるポータブル電源は蓄電式となっており、災害等の緊急時に地域のモバイル、携帯用の充電ステーションとして使用できる。熊本地震で被災された地域への支援として、このポータブル電源を地区長にも鍵を預けて使用して頂けるように地域に一般開放している。 ・社員に防火管理者等の資格取得を推奨している。(資格取得者多数在籍)	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・災害を予防するために、そして、正確な警報や行動で被害を最少限に食い止めるために、危険が予想される地域や場所の状況を正確に監視/計測するOKIPPA104を当社が開発し、販売しており、熊本県内でも積極的に企業先に提案している。										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・eラーニングを用いて、定期的な社内研修を行い、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・授業の一環として、1週間~1カ月のインターンシップの受け入れを実施している。次世代を担う学生の職業観育成の観点から、全国各地の建設現場を中心に、継続的に開催し、建設産業への理解と魅力の発信に努めている。 ・立野ダム工事でも、立野地区子ども会向けの現場見学会を行うなど、職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。